

*For the People*

**YOSHINOYA  
HOLDINGS**

**2023年2月期 第3四半期  
決算補足資料**

**2023年1月13日**

**証券コード：9861**

**株式会社 吉野家ホールディングス**

# 23年2月期第3四半期 業績サマリー

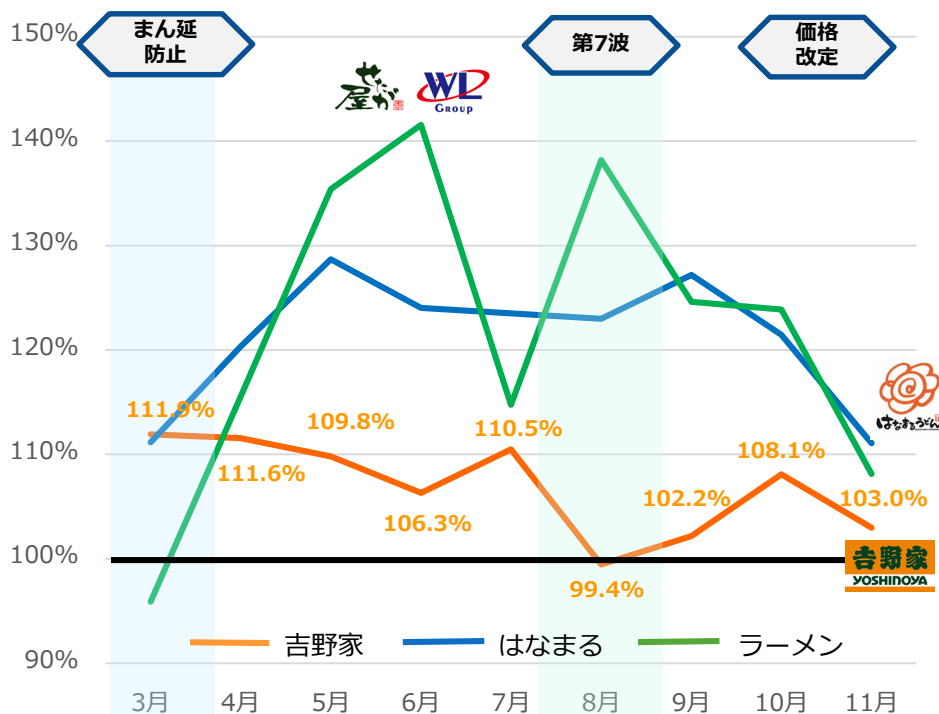
単位：百万円	2023年2月期 第3四半期累計		2022年2月期 第3四半期累計		増減		年間計画 修正予想		年間計画 当初予想
	実績	売上高比	実績	売上高比	前年差	前年比	計画	進捗率	計画
売上高	124,742	-	113,475	-	+11,266	109.9%	168,000	74.3%	168,000
売上総利益	80,661	64.7%	75,508	66.5%	+5,153	106.8%	107,900	74.8%	107,900
営業利益	1,969	1.6%	1,395	1.2%	+573	141.1%	3,400	57.9%	3,400
経常利益	5,941	4.8%	11,092	9.8%	▲ 5,151	53.6%	7,000	84.9%	5,400
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,776	4.6%	6,153	5.4%	▲ 377	93.9%	4,300	134.3%	3,500
EBITDA	6,686	5.4%	6,241	5.5%	+446	107.1%	9,700	68.9%	9,700

※ EBITDA：営業利益＋減価償却費及び償却費

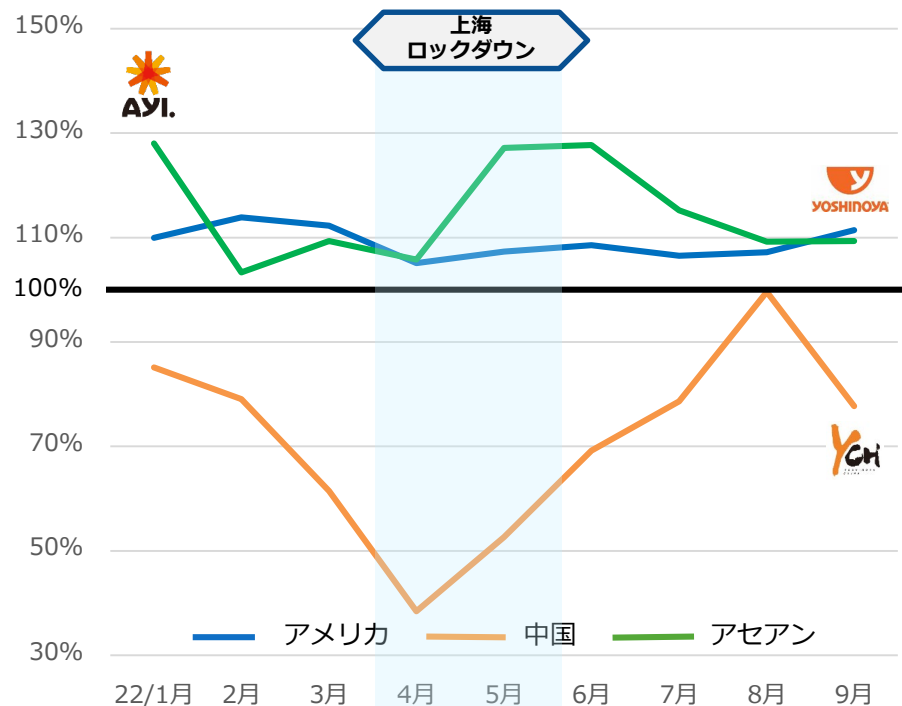
- ✓ 増収要因：店内飲食の回復による既存店売上高の増加
- ✓ 営業利益増益要因：売上高の回復による経費率の低減
- ✓ 経常利益・当期純利益減益要因：時短協力金の減少 ▲56億円（当第3四半期 36億円）
- ✓ 業績予想の修正：経常利益、当期純利益の通期予想を修正（9頁に記載）

# 既存店売上高推移（前年比）

- ◆国内：時短営業解除後、店内飲食が段階的に回復。「第7波」の影響を受けるも回復傾向
- 海外：アメリカは新商品導入や機動的な価格政策により好調に推移、アセアン各国は人流の増加とともに回復傾向、中国は厳格な行動制限の大きな影響を受ける





		1Q	2Q	3Q	通期
吉野家	前年比	111.1%	105.2%	104.5%	106.8%
	19年比	98.6%	94.2%	102.2%	98.0%
はなまる	前年比	119.7%	123.5%	119.4%	120.9%
	19年比	77.1%	83.7%	89.9%	83.2%
ラーメン	前年比	113.5%	130.2%	118.5%	120.6%
	19年比	77.4%	91.0%	101.6%	92.9%



		1Q	2Q	3Q	通期
アメリカ	前年比	112.0%	106.9%	108.3%	109.0%
	19年比	118.0%	119.2%	123.7%	120.3%
中国	前年比	75.2%	52.9%	84.8%	70.5%
	19年比	68.1%	52.8%	72.6%	64.5%
アセアン	前年比	113.0%	119.3%	111.2%	114.4%
	19年比	97.3%	88.8%	77.9%	87.7%

# 既存店売上高推移（前年比）②

## ◆価格改定後3か月間（10月～12月）の既存店前年比平均

		
売上高	105.1 %	114.9 %
客数	95.7 %	106.1 %
客単価	109.9 %	108.3 %

✓ 価格改定後も、吉野家・はなまるともに既存店売上高は前年を超えて推移している

- ・吉野家の既存店客数前年比は、価格改定前の9月と同水準  
9月実績：客数前年比 95.7%

# セグメント売上高・利益増減

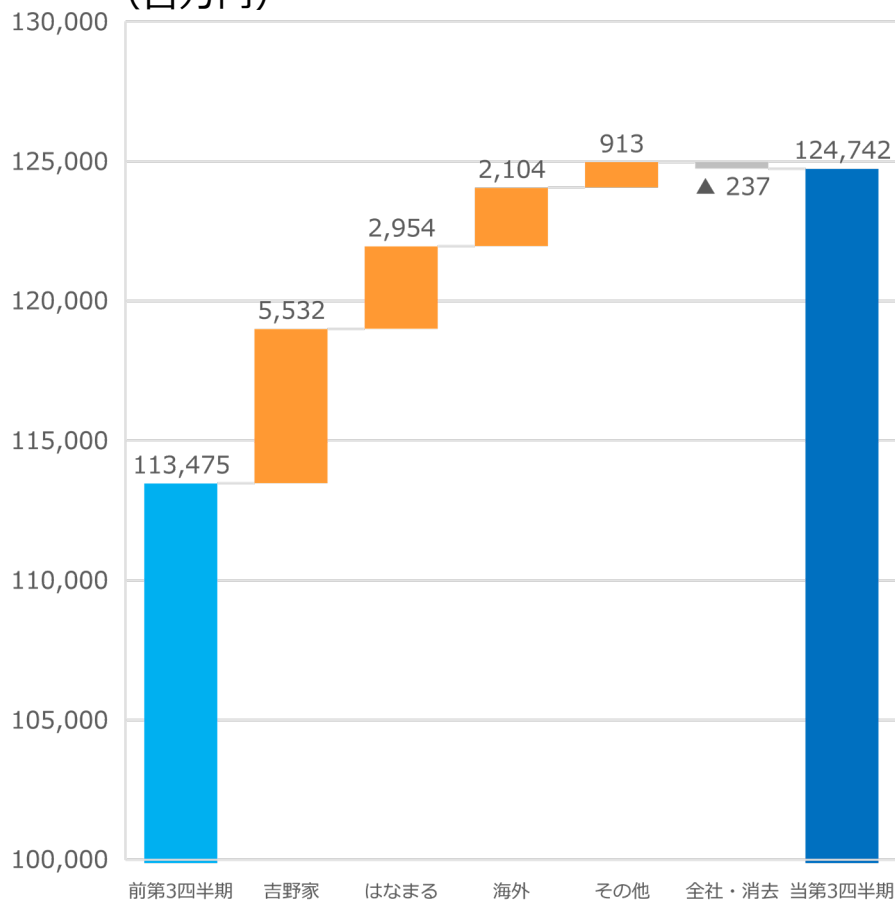
## ◆売上高

・全セグメントにて増収 109.9%

前年同期比

吉野家 107.0%、はなまる 118.6%、海外 112.5%

(百万円)



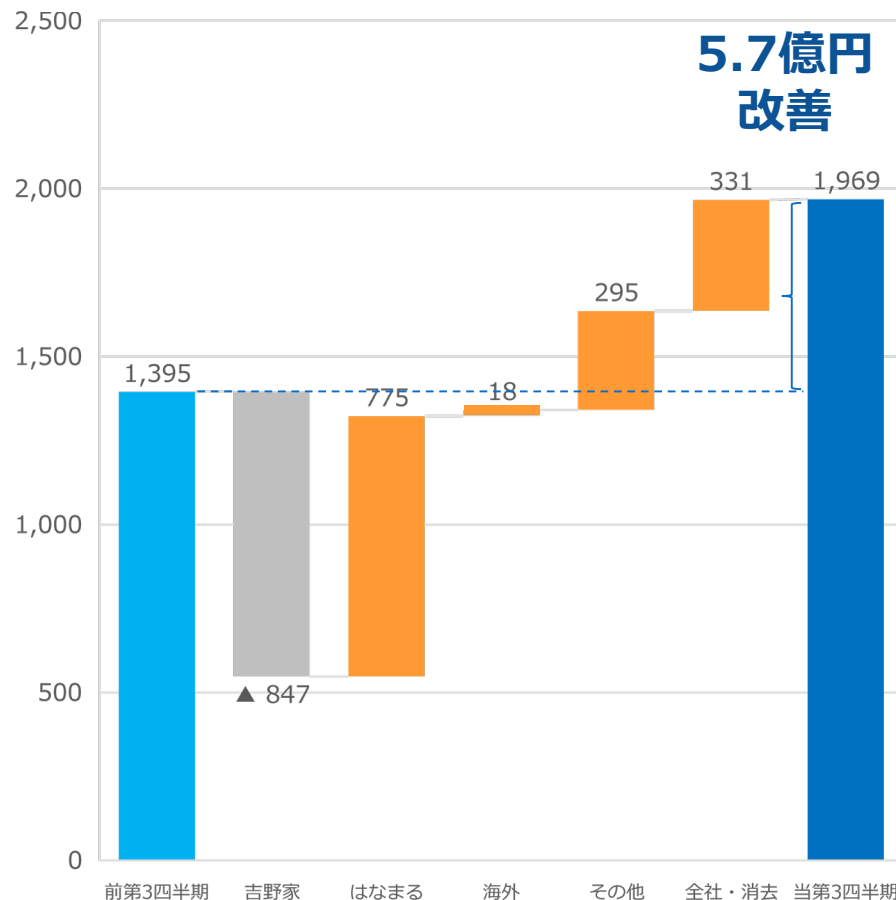
## ◆営業利益

・前年同期差 +5.7億円

吉野家：原材料高騰影響

海外：ポジティブ：為替影響

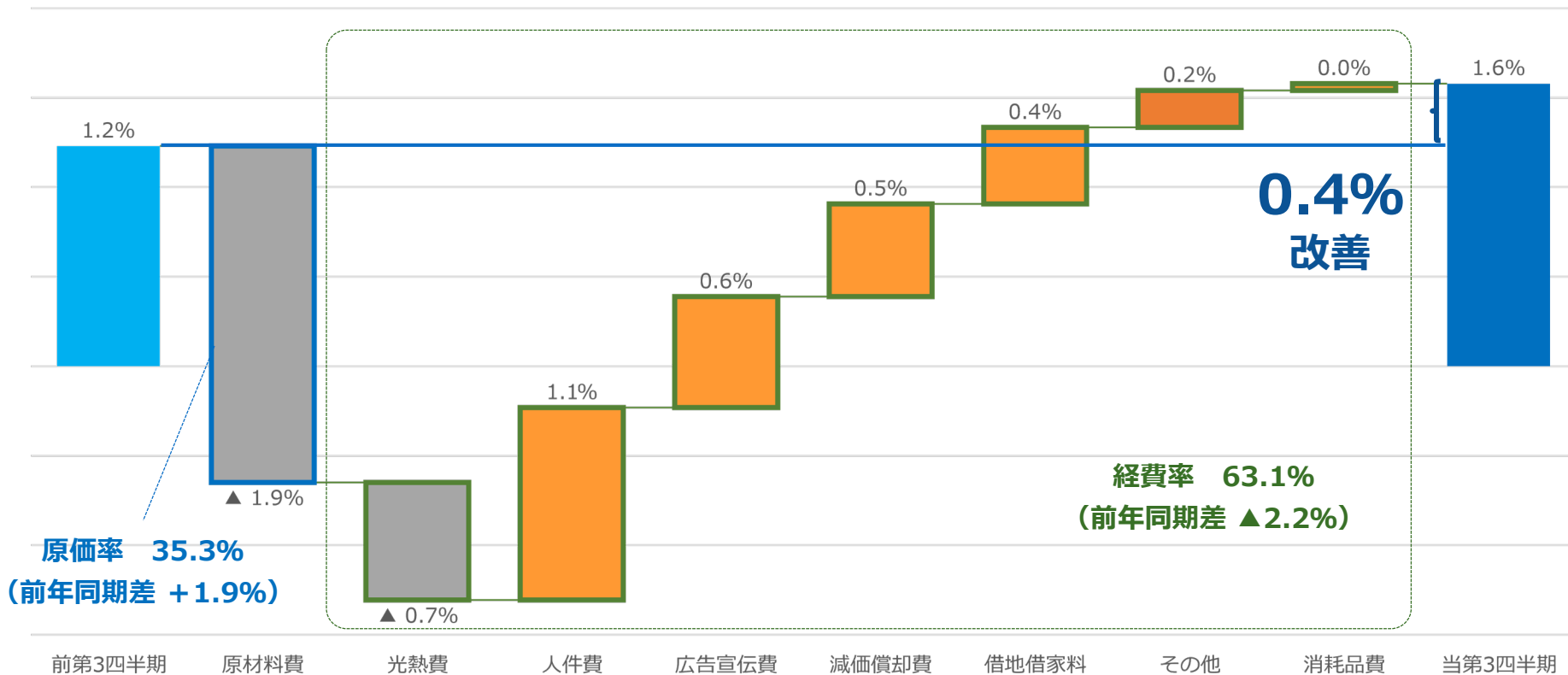
ネガティブ：上海ロックダウン影響



5.7億円  
改善

# 営業利益率の増減要因

◆ 営業利益率の改善：原価と光熱費が上昇するも売上高増加により経費率が低減  
前第3四半期 1.2% → 当第3四半期 1.6% (前年同期差 +0.4%)



## 低減要因

- ・ 原材料価格の上昇 (コスト影響額 +36億)
- ・ 電気代ガス代の上昇 (コスト影響額 +12億)

## 改善要因

- ・ 本部経費の継続的な低減
- ・ 売上高増加による固定経費率の低減
- ・ 適正な変動費コントロールの強化

# セグメント別 出退店実績

	前期末	出店	退店	譲渡	当第3 四半期末	増減
<b>吉野家</b> うちC&C	<b>1,190</b> (165)	17 (8)	11 (0)		<b>1,196</b> (218)	+6 (+53) ※2
<b>はなまる</b>	<b>463</b>	1	12		<b>452</b>	▲ 11
<b>海外</b>	<b>974</b>	45	43		<b>976</b>	+2
<b>その他</b>	<b>218</b>	9	12	▲ 94 ※1	<b>121</b>	▲ 97
<b>グループ計</b>	<b>2,845</b>	<b>72</b>	<b>78</b>	<b>▲ 94</b>	<b>2,745</b>	<b>▲ 100</b>

※1 GP社の株式譲渡による影響 ※2 C&C改装店舗 45店舗を含む

- ✓ 【吉野家】 クッキング&コンフォート（C&C）店舗の出店・改装進捗状況  
⇒**48.2%**（実績 53店舗/年間計画 110店舗）  
テイクアウト・デリバリー専門店4店舗出店
- ✓ 【海 外】 中国を中心に出店再開、アセアン各国も出店を再開  
（中国 28店舗、インドネシア 8店舗、タイ 5店舗、フィリピン 2店舗）  
新コンセプト店舗2号店オープン

## ◆設備投資実績 51億円

吉野家 39億、はなまる 4.6億、海外 3.8億、その他 2億、本部 1.5億

# 貸借対照表・キャッシュフロー

単位：百万円	当第3四半期末	前期末	増減
<b>流動資産</b>	<b>44,985</b>	<b>49,731</b>	<b>▲ 4,746</b>
現金及び預金	25,008	35,179	▲ 10,171
その他	19,977	14,551	+5,425
<b>固定資産</b>	<b>65,559</b>	<b>62,482</b>	<b>+3,077</b>
有形固定資産	39,349	34,798	+4,551
投資その他	22,930	24,028	▲ 1,097
その他	3,279	3,656	▲ 376
<b>資産合計</b>	<b>110,545</b>	<b>112,214</b>	<b>▲ 1,669</b>

単位：百万円	当第3四半期累計	前第3四半期累計	増減
<b>営業CF</b>	<b>4,040</b>	16,962	▲ 12,921
投資CF	▲ 2,203	289	▲ 2,493
<b>FCF</b>	<b>1,837</b>	17,252	▲ 15,415
財務CF	▲ 12,200	▲ 24,846	+12,628
現金及び同等物 期首残高	34,211	36,796	▲ 2,584
現金及び同等物 期末残高	24,350	29,436	▲ 5,085

	当第3四半期末	前期末	増減
<b>自己資本比率</b>	<b>49.2%</b>	<b>42.9%</b>	+6.3%
<b>D/Eレシオ*</b>	<b>0.46</b>	<b>0.72</b>	▲ 0.26
<b>ネットD/Eレシオ*</b>	<b>0.01</b>	<b>0.00</b>	+0.01

※リース負債を除く

単位：百万円	当第3四半期末	前期末	増減
<b>流動負債</b>	<b>29,057</b>	<b>32,210</b>	<b>▲ 3,152</b>
短期借入金	2,289	2,233	+56
1年内長期借入金	8,090	10,470	▲ 2,379
その他	18,677	19,506	▲ 829
<b>固定負債</b>	<b>26,384</b>	<b>31,263</b>	<b>▲ 4,878</b>
長期借入金	15,208	22,422	▲ 7,214
その他	11,175	8,840	+2,335
<b>負債合計</b>	<b>55,442</b>	<b>63,473</b>	<b>▲ 8,031</b>
<b>純資産</b>	<b>55,103</b>	<b>48,741</b>	<b>+6,362</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>110,545</b>	<b>112,214</b>	<b>▲ 1,669</b>

## ■貸借対照表

### ✓ 有利子負債の減少

・借入金の返済 ▲98億

### ✓ ASC第842号「リース」への対応（アメリカ）

・資産 38億、負債（その他）39億の増加

## ■キャッシュフロー

### ✓ 営業CFの減少

・法人税等の支払いの増加 ▲49億

### ✓ 投資CFの減少

・店舗改装の再開による設備投資の増加



# 23年2月期業績予想の修正

単位：百万円	2022年2月期	2023年2月期		2023年2月期		
	実績	当初予想		修正予想		
	実績	予想	増減 前期比	予想	増減 前期比	増減 当初予想比
売上高	153,601	168,000	+14,398 109.4%	<b>168,000</b>	+14,398 109.4%	- -
営業利益	2,365	3,400	+1,034 143.8%	<b>3,400</b>	+1,034 143.8%	- -
経常利益	15,642	5,400	▲ 10,242 34.5%	<b>7,000</b>	▲ 8,642 44.7%	<b>+1,600</b> <b>129.6%</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	8,116	3,500	▲ 4,616 43.1%	<b>4,300</b>	▲ 3,816 53.0%	<b>+800</b> <b>122.9%</b>

## 業績予想の修正理由

- ✓ 経常利益、当期純利益：まん延防止等重点措置の延長による時短協力金の増加
- ✓ 売上高、営業利益：修正なし

*For the People*

# YOSHINOYA HOLDINGS

本資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画予測数値などは、現在入手可能な情報を元に、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合があります。この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知おきください。